



創 立 1993年12月1日  
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500  
 ホテル日航成田  
 TEL/FAX 0476-24-5044  
 例会場 ホテル日航成田内  
 TEL 0476-32-1144

# 成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2019～2020年度 国際ロータリーテーマ  
 ロータリーは世界をつなぐ  
 【 会長 マーク・ダニエル・マローニー 】

成田コスモポリタンRCターゲット  
 「みんなで輪をつなげよう」  
 [会長：奥村 國雄]

## 第 1270回 例会

令和2年1月15日（水）

### 《 成田空港の機能強化と地域活性化 》

- ◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長
- ◇ ロータリーソング 我らの生業
- ◇ 四つのテスト 澤田 順行 会員
- ◇ お客様紹介

株式会社ちばぎん総合研究所  
 調査部長 関 寛之 様



◇ ニコニコ BOX 無し

◇ 会長挨拶 奥村 國雄 会長



改めまして、皆様こんにちは。本日は、お忙しい中、(株)ちばぎん総合研究所の調査部長 関寛之様においでいただきました。誠に有難うございます。後ほど卓話をお願いいたします。

今年は皇紀 2,680 年になります。神武天皇即位紀元とする年数になります。戦前の話になりますが、当時の日本の軍用機には皇紀の下二桁を冠する規定が

あったため、帝国海軍の零式艦上戦闘機の零戦またはゼロ戦は皇紀 2,600 年（昭和 15 年）に運用開始されたので、その名がつけられたのは有名な話です。

私たちの誕生日の年は戸籍では元号で記されています。皇紀何年ですかと聞かれたら、すぐ答えることができる方は、ほとんどいないと思います。しかし西暦ならすぐ答えられます。現在、クレジットカードや何かの会員になるとき、誕生日を西暦で記入するケースが多くあります。かなり前になりますが、私が最初に西暦で書かされたのが、当時はやり始めた、ビデオのレンタルショップでした。初めてのことであったので、非常に違和感があり、なぜキリスト教歴で書かないといけないのか腹が立ちました。また、その前に新聞の発行日の日付でも、西暦がメインで元号が括弧の中に書かれ、それまでと逆になりました。昨年改元の時、元号不要論などもあり少し心配しましたが、令和になりました。

個人情報を管理する側は、西暦で管理するほうが合理的にできます。銀行や保険会社など申込書に書く生年月日は表向き元号記入ですが、自動的に西暦に読み替えて保存され、個人情報を共有して問題がある人を選別していると思います。今の機能ならば簡単なことなので、私のような西暦で誕生日を書くことに文句を言うような人に対応しているのかもしれない。

西暦をキリスト教歴とあえて言いましたが、イスラム教の国や、仏教の国、その他の宗教の国は、それぞれ建国何年と紀元を持っているので、日本を含め公式文書には必ず記されると聞いています。今、キリスト教に基づく表現である、紀元 AD(Anno Domini) 紀元前 BD(Before Christ)を、より中立的に、たとえば英語では共通紀元 (CE) 共通紀元前 (BCE) とする動きが置いているそうです。もともと 18 世紀ごろからユダヤ教徒の間で、CE や BCE を使う動きがあり、背景には 19 世紀から 20 世紀初期にかけて、西洋のシステムが「グローバルスタンダード」になっていく中で、非キリスト教圏にも西暦が浸透して行き、特に欧米の非キリスト教徒には強い抵抗感があったことがあるそうです。

2002 年に、イングランドとウェールズの公立学校が、CE,BCE を導入しました。2007 年度版世界年鑑 (World Almanac) なども追随し、出版業界でも切り替えの動きが広がっています。またアメリカの大学入試テスト等を運営する非営利団体のカレッジボードなども導入しているとの事です。将来、宗教に影響されない共通紀元となりますかどうかは分かりませんが、世界平和を願い会長挨拶とします。

◇ 委員会報告 無し

◇ 幹事報告 高木 正尊 幹事

■回覧：無し

■例会変更：無し

■その他：・1月8日は寺の行事で欠席し、ご迷惑をおかけしてすいませんでした。

・2019年手続き要覧を配付致しました。過日、クラブ協議会臨時総会におきまして、細則変更の承認をいただきましたが、皆様がお持ちのクラブ活動計画書の定款と、配付しました手続き要覧の定款は若干異なります。細則変更のあった条文の該当項目につきまして差異が生じておりますので、再度精査をして改めて諮りたいと思っておりますので、もう少しお時間をいただきたいと思います。

・2月5日は新酒の会なので、理事会は1月29日の例会終了後に行います。



## ◇ 理事会報告 岩澤 弘 副幹事

先週行われた理事会のご報告です。まず議題として、「2019 花火を見る会」決算の件です。花火大会の延期に伴い参加者が減少しましたが、来年度も会場の容量も踏まえ、出席者を増やしていく努力（30 名程度）をしていきたいと思えます。また、交通渋滞も緩和されていることから、開始時間等を考慮していくこととし、決算案は原案どおり承認されました。



協議事項として、①今年度旅行会の行程について、親睦活動委員会が今月末の次回理事会に案を提出することとなり、出欠アンケートについても併せて対応することとなりました。②野球部の活動に伴う予算については、今月末の次回理事会に案を提出することとなりました。なお、次年度では、野球部とゴルフ関係の予算立てを行うことについて提案されましたので、前向きに対応していきたいと思えます。③ 6 月にホノルルで開催される「世界大会」参加者に対する助成について、前向きに対応していくこととなりました。

報告事項として、① 2 月 8・9 日の地区大会プログラムについて（アパホテル&リゾート幕張）当日は 4 名の駐車場整理要員を求められているため、高木幹事と片岡会員で調整を行っていますので、ご協力をお願い致します。②ゴルフ担当から出欠確認のためのLINEグループを作って迅速な対応がしたい旨、報告されました。③地区大会当日、クラブ表彰と石川会員の個人表彰が行われる旨の通知がありました。④ 12 月のロータリーレートは 110 円です。

## 卓 話 「成田空港の機能強化と地域活性化」

株式会社ちばぎん総合研究所調査部長 関 寛之 様



本日は、成田空港の機能強化と周辺地域の活性化の取組状況について整理したあと、成田空港周辺地域が持続的な発展を遂げるための課題について明らかにしたいと考えています。

当社は、2013 年より 5 地域に分けて、様々な提言を行ってきました。当社では、圏央道の内側と外側の地域格差に着目しています。これは東京都心により近い地域と遠い地域との差と捉えることも出来ます。すなわち、都心へのアクセス性が優れた「東京湾岸地域」と「常磐・つくばエクスプレス沿線地域」は、産業振興や人口増加の動きが続いています。一方、銚子・九十九里・南房総地域では、人口減少に伴って、経済も伸び悩んでいます。この両者の中間に位置しているのが、「アクアライン・圏央道沿線地域」と「成田空港周辺・印旛地域」という構図です。

地元の皆さまにはご案内のことと思いますが、第 3 滑走路や夜間運用制限の緩和など成田空港の機能強化により、航空旅客は現在の約 2 倍の 7,500 万人、航空貨物量は約 1.5 倍の 300 万トン、空港内雇用は現在の約 4 万人から 7 万人と約 3 万人増加する見込みです。もっとも、年間 50 万回飛ぶようになればその分、騒音も増えることとなります。こうしたマイナス面を補うようなプラス効果を空港周辺エリアの自治体が得られることが機能強化とセットでなければ実現しない話です。現在、千葉県が中心となって、成田空港周辺 9 市町の地域活性化の方向性を具体化する実施プランの策定に取り組んでおられます。成田空港周辺 9 市町において、これから様々な施策・事業が実施されていくことになります。

成田空港の周辺地域では、成田空港の機能強化を睨みつつ、大型プロジェクトが目白押しの状況です。空港の西側では、吉倉地区に京成の新駅構想があります。2020 年 4 月には国際医療福祉大学の附属病院が開院する見込みであり、新駅と新病院の間の約 100 ヘクタールを開発して、大学病院に近い

立地では、医療産業の集積を図る方針を打ち出しているほか、住宅地としても造成し、空港雇用者の定住を促進するとしています。また、昨年1月には、左上に記載がありますが、小菅地区の地区計画を成田市が公表しました。小菅地区とは、成田空港の北西約1kmにあり、成田インターチェンジの北側にある調整区域42ヘクタールの土地を指しています。インターチェンジから近いことから産業用地としてのポテンシャルが高く、成田市は、観光・ビジネス・医療拠点の形成を図るとしています。

一方、空港の東側には、2024年度には圏央道が全通する予定となっており、成田市内と多古町にインターチェンジが新設され、周辺エリアの再開発が期待されています。さらに、2020年度には、成田市地方卸売市場が移転し、農水産物の輸出拠点やインバウンド向けの賑わい設備も整備される予定です。この市場の近くには、JALが約2ヘクタールの農地を借り受け、観光農園の整備が進められています。芋ほりや果物狩りなどの体験農業に加え、農家レストランもつくり、最終的には4.5ヘクタール程度まで用地を拡張するとのことでした。

成田空港の機能強化による経済波及効果は、空港周辺だけではなく、成田空港周辺9市町など広域に波及させる必要があります。そこで、ご覧の市町では、土地利用計画などのビジョンを相次いで公表し、成田空港の機能強化に伴う果実を能動的に取りに行く動きを強めています。誤解を恐れずに言わせていただくと、これまで成田空港周辺エリアでは、騒音被害などの被害者意識が強かったため、何もしなくても、国や県、NAAが何かしてくれると受け身の姿勢が40年間も続いてきたように思えます。実際に、周辺の自治体には「周辺対策交付金」が交付され、一定の財政措置が受けられてきたことも事実です。

しかしながら、人口が既に減少傾向となっている地域が増えている状況下、成田空港の機能強化に伴う経済波及効果を地域経済に取り込むことはラストチャンスと言っても過言ではないと思います。例えば、多古町を例にとると、多古町の人口は2015年の約1万5千人から2045年には約9千人（▲4割）に減少する見通しで、他の市町も成田市を除いて減少が見込まれています。もっとも、人口推計は「何もしなければ」という冠が付いています。多古町は未来構想を2018年の10月に作成し、産業振興などによる人口減少の抑制に向けて、さまざまな戦略を推進しています。こうした動きは、富里市、横芝光町、芝山町などでも相次いでみられました。このような動きはこれまでなかったことです。各市町が成田空港の機能強化を地域振興につなげるため本気になったことの証左と言えるかもしれません。

もっとも、成田空港の機能強化は、成田空港周辺9市町にとっては騒音が増えるというマイナス面の影響も受けることとなります。このマイナスの影響を払拭するようなプラスの影響がなければ、成田空港の機能強化は成り立ちません。そこで、千葉県が中核となった四者協議会では、2018年度に成田空港周辺9市町の地域活性化策である「基本プラン」を作成したほか、千葉県道路整備プログラムを作成し、必要な道路について整備を進める方針を打ち出しています。9市町の地域振興の大きなテーマは、「企業誘致」「観光振興」「農業振興」「災害対策」としています。道路整備と空港内の雇用増加の受け皿となるような住宅整備や住民が暮らしやすいまちづくりも大きなテーマとなっています。

昨年度以降、当社は、千葉県から委託を受けて、9市町の地域活性化プランづくりの支援を行って参りました。成田空港周辺9市町が抱えている課題について整理すると、次のようになります。

まず、企業誘致を進めるうえで、企業に分譲・賃貸する産業用地が乏しいことが最大のネックとなっています。成田空港周辺地域は、日本有数の農村地帯であるため、産業用地の開発を行おうとすると、農地転用の岩盤規制が立ちはだかります。また、埴輪が多く出土するなど埋蔵文化財の調査に多額のコストがかかることも開発のハードルとなっています。

観光面では、観光推進体制の構築と地域資源のブラッシュアップが課題です。成田空港周辺地域は、

もともと御料牧場があった農村地帯であるため、成田山新勝寺や佐原の街並みなどの一部を除いて観光資源が乏しい状況となっています。しかしながら、現在の観光は、従来型の寺社仏閣参拝や自然景勝地の鑑賞などから、コト消費（体験観光）に徐々にシフトしています。東南アジアの方には、成東のイチゴ狩りが人気とのことですが、日本有数の農業という地域のインフラを観光で活用するという方向性が考えられます。これまでの観光は自治体や観光協会が主導してきたため、事業者が儲ける仕組みづくりが欠けていたように思います。折しも、現在、国が主導しているDMO（Destination Management Organization）などを広域連携で立ち上げ、観光のプロなどの民間も入れて、どこで・誰が・どのように稼ぐのかという仕組みづくりを構築することが必須条件と思います。

ちなみに、現在、成田空港会社と周辺市町の一部が連携して、インバウンドを対象にしたトランジット&ステイプログラムを推進しています。これは、乗継客や空港周辺のホテルに滞在している外国人を対象に、空港やホテルの外に出てもらい、お金を使ってもらおうという取り組みです。そもそも、成田空港を乗り継ぎで使っている外国人がどのぐらいいるのかということを昨年度調査しました。成田空港のなかに5時間以上滞在している外国人は年間で166万人もいることが分かりました。166万人というとマザー牧場と鴨川シーワールドを足したぐらいの数の外国人が空港のなかで暇にしているということですから、もったいない話です。空港周辺の体験観光を行っている事業者と空港を有機的につなげてツアー化して売っていくという方向性が考えられます。

また、地域振興はやる気のある「人」が命です。千葉県全体でも2020年頃に人口がピークを迎え、以降は人口減少フェーズに入ることが見込まれていますが、人材の確保・育成も大きな課題といえそうです。

農業については、成田空港の機能強化で空港用地が約2倍に拡大されることから、収容される農地も少なくありません。一方、千葉県の野菜は重量野菜が多く、輸出に向かないことから、成田空港の機能強化の恩恵を受けにくいという側面も否めません。農協の方のご意見では、農家の高齢化が進んでいるため、これを機会に離農する方も一定数はいるだろうとのこと。離農される方を極力少なくするよう代替地の幹旋や成田用水の再整備などを農家の方のニーズに基づいてしっかりやるのが空港周辺の農業の持続可能性を高めるためには1丁目1番地の施策のように感じました。また、空港周辺の農家のなかには6次産業化の動きも散見されます。例えば、規格外で売ることができない落花生をペースト状にして、デザイナーとコラボしたかわいい瓶詰にして商品化したりしています。こうした6次産業化による商品を空港のなかで売っていくことや輸出することなどは可能性があるように思います。

情報発信や2次交通の充実、産官学連携などは、民間主導ではなかなか思うように進めることが出来ないで、自治体が垣根を超えて連携していく視点が欠かせないように思います。

最後に、成田空港周辺9市町の活性化の方向性ですが、企業誘致・観光振興・農業振興が産業振興の主要な柱になります。これらの産業を支える空港を拠点とした2次交通や人材の育成・排出が地域活性化のベースとなります。

何れにしても、千葉県のなかで成田空港周辺地域は今後10年間で最も動きがある（お金が動く）エリアだと認識しています。千葉銀行では、成田空港周辺地域の動きを新たなビジネスチャンスととらえて、2018年度には「成田プロジェクト推進室」を立ち上げました。成田空港の機能強化に伴って、皆様の事業が拡大に向かうよう千葉銀行グループも微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと考えております。

ここからは、成田空港周辺地域の持続的な発展に向けた課題について、少し掘り下げてお話しします。まず、初めに、最も重要と思われるのが、次世代の千葉県を担う人材の確保・育成です。千葉県の

働き盛りの人口（生産年齢人口：15～64歳）は、下の数表にありますように2015年から2045年にかけて、94万人減少していくことが見込まれています。94万人というと千葉市の人口とほぼ同じですから、そのインパクトはかなりのものと思われます。

千葉県全体の生産年齢人口は、既に2000年ごろをピークに減少に転じています。このことは雇用マーケットのタイト化を示唆しており、千葉県内企業の雇用不足感は年を追って強まっている状況です。弊社が四半期ごとに実施している県内企業向けアンケートでは、不足感がうなぎ登りの状況です。

また、最近の若者はすぐに仕事を辞めてしまう傾向にあります。就職して3年目までに離職してしまう人の割合は、高卒で4割、大卒で3割となっています。こうした離職率を改善するためには、企業誘致に関して言えば、中長期的に雇用が確保できるような地域への立地需要は、今後ますます高まるものと思われ、従業員のニーズを良くくみ取った従業員を大事にする経営が不可欠になります。

人口減少に伴って国内のマーケットの縮小懸念があるなかで、訪日外国人（インバウンド）の需要をいかに取り込んでいくのかといった視点は重要です。2013年に次期オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決まりました。右上の折れ線グラフをご覧ください。オリンピック開催決定前の2012年のインバウンドは836万人でしたが、その後はご覧のようにかなりの角度で増加が続き、2018年には3,000万人を突破し、2012年比では約3.5倍に急増しました。一方、出国日本人数は、ご覧のように1990年代半ばから横ばい推移となっており、人口動態の影響を色濃く受けている状況です。

千葉県の観光入込客数は、直近の2018年には1.9億人となっており、東日本大震災以前の2010年と比較すると約2割増えています。もっとも、5つの地域別に並べてみると、「銚子・九十九里・南房総地域」のみ震災前の水準に戻っていないことが分かります。この地域は、震災によって、津波被害をこうむったことは記憶に新しいと思います。過疎化が進んで観光客（交流人口）を増やさなければいけない銚子・九十九里・南房総地域において、観光が振るわないことは、過疎化に更に拍車をかけることも懸念されます。

インバウンドを国・地域別にみると、中国、韓国、台湾がトップ3となっており、その他の国も含めると約9割がアジアからの来訪となっています。アジアの人口の先行きをみると、2050年までに、約10億人増加する見込みとなっています。10億人というと南北アメリカの人口が約10億人といわれているので、南北アメリカがアジアに引越してくるようなインパクトであり、インバウンドは今後も増加していくことは間違いないと思います。日本国内をみれば、人口減少・少子高齢化と暗い話題が多いものの、海外に目を転じれば、アジアにビジネスチャンスがごろごろと転がっている。これからの産業振興を考える際に、アジアの需要をいかに捕まえるかという視点が重要といえます。

首都圏では、交通インフラの整備によって経済の一体化が進んでいます。1980年頃は東京を起点に地方への高速道路が放射線状に整備されていました。1972年に田中角栄が公表した「日本列島改造論」の理念に基づいて、高速道路の整備が進んだ時期といえます。2010年頃の高速道路は、東京から放射線状に延びた高速道路を三環状すなわち中央環状線・外環道・圏央道が少しずつ整備されていますが、まだまだ道半ばといったところですよ。そして、現在、千葉の大栄JCT～松尾横芝ICなどの一部を除いて整備の急速な進展が見てとれます。今後は、銚子連絡道路や長生グリーンライン、北千葉道路など圏央道の効果を更に拡大させる道路整備が予定されています。

但し、こうした道路整備の進展は、インターチェンジ周辺の利活用といった側面からとらえれば、地域間の競争が激化した要因とも考えられます。地域間の競争に打ち勝って企業誘致や産業振興を実現していくためには、産業用地の確保や誘致活動について、スピード間を持って推進していかなければなりません。千葉県は、この点において、ややのんびりしている感は否めません。

千葉県が企業誘致や観光振興などの面で地域間競争に打ち勝っていくためには、千葉県のブランド化すなわち千葉県のどの部分で稼いでいくのかを計画にすることが課題です。高速道路網の整備進展に伴って、首都圏経済が一体化していることは、一方で、首都圏の均一化も示唆しています。そうした時代において、企業誘致の場合、経営者に千葉県を選んでもらうためには、千葉県ならではの魅力をアピールしていかなければいけません。そのためには、われわれ千葉県民が千葉県の魅力を正しく理解していることが不可欠です。

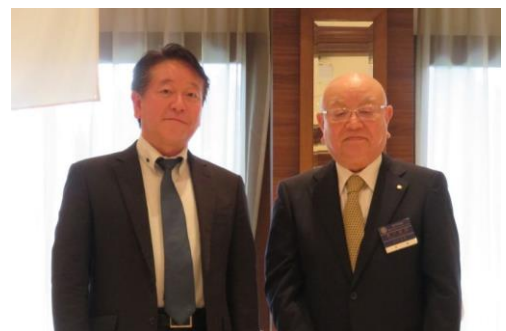
千葉県のブランド力について、居住地別すなわち千葉県と千葉県以外の東京圏、一都三県以外の道府県の3つのカテゴリでクロス集計しました。例えば、成田山新勝寺をみると、千葉県では3位となっていますが、真ん中の東京圏で見れば、浅草寺や鎌倉などの名刹があることもあって7位となっています。更に、一都三県以外になると13位までランクが下がります。一方、九十九里浜はどうでしょうか。千葉県では17位と低い結果となっていますが、東京圏では8位と成田山新勝寺並みであり、一都三県以外になると東京ディズニーリゾートに次ぐ第2位となっています。つまり、日本人全体から見ると、千葉県のブランドは、ディズニーランドと九十九里浜というわけです。しかしながら、九十九里浜は観光資源として十分に活用されているのでしょうか。恐らく十分に活用されていないことが、銚子・九十九里・南房総地域の観光の低迷に如実に表れています。千葉県のポテンシャルのある地域資源を適正に評価して、ブラッシュアップし、タイムリーに情報発信していくことが重要になります。

皆様それぞれの地域についても官民がいかに連携して、まちの持続可能性を高めていけるかといった視点が今後重要になるものと思われまます。私は総研で働き始めて約20年になるのですが、千葉県民は連携することが苦手な県民性だなあと感じる事が多くあります。その背景には、千葉県の立地が大消費地東京圏の一角を担っており、あまり無理をしなくてもなんとなく食っていける土地柄というのがあるのかもしれない。

千葉県には770の貝塚があり、その数は全国の約3割を占めています。貝塚は縄文時代のゴミ捨て場ですから、貝塚が多いということは、縄文時代には、それだけ多くの人が千葉県に住んでいたことを示唆しています。千葉県は温暖で平坦地が多く、3方を海に囲まれた土地柄です。海の幸・山の幸が豊富にあり、まさに縄文時代から脈々と食うに困らない県民性が培われたといえるのかもしれない。

しかしながら、これからは、地域間競争の激化もつとて言えばグローバル競争が激化していくわけですから、これまでと同じことをしては、時代についていくことはできません。成田空港周辺地域には、成田空港の機能強化という強い追い風が吹いています。この追い風を経済的なプラス効果に変えられるよう、今こそ団結して取り組むべき時期と思います。成田コスモポリタンロータリークラブが、その起爆剤となるような取り組みを進められることに期待しています。

以上、短い時間ではありましたが、ご清聴ありがとうございました。一つでも皆様の活動のヒントになれば幸いです。ありがとうございました。



◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長

◇ 出席報告 \*メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	12月18日	72名	5名	46名	23名	2名		67.61%
本日例会	1月15日	72名	5名	30名	35名	4名	49.28%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022